

横浜市強度行動障害支援力向上研修【実践研修】カリキュラム

科目名	時間数	内容		講義名
I 講義	5.5H			
1 強度行動障害のある人へのチーム支援	2H	①強度行動障害支援の原則	チームによる支援の重要性	行動障害のある人の暮らしを支えるために 2H
	地域で強度行動障害のある人を支える			
	支援の6つの原則			
2 強度行動障害と生活の組み立て	2H	①行動障害のある人の生活と支援の実際	行動障害のある人の家族の思い	家族の思い 0.5H
	日中活動場面における支援		行動障害のある人の生活と支援 1.5H	
	夕方から朝にかけての支援			
	外出場面における支援			
3. その他	1.5H	①事例報告		シンポジウム 地域生活を支える横浜市泉区から 1.5H
II 演習	8.5H			
1 障害特性の理解とアセスメント	2.5H	①障害特性とアセスメント	障害特性の理解	適切な支援を組み立てる(予防モデル)-行動のアセスメント- 2H
	障害特性に基づくアセスメント			
	行動の意味を理解する		行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 1 行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 2 0.5H	
2 環境調整による強度行動障害の支援	3.5H	①構造化の考え方と方法	強みや好みを活かす視点	適切な支援を組み立てる(予防モデル)-支援計画シート of 作成- 2H
	構造化の考え方			
	構造化の方法		行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 1 行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 2 1.5H	
3 記録に基づく支援の評価	1H	記録の収集と分析	行動の記録の方法	行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 2 1H
	記録の整理と分析			
	再アセスメントと手順書の修正			
4 危機対応と虐待防止	1.5H	①危機対応と虐待防止	危機対応の方法	危機対応と虐待防止 1.5H
	虐待防止と身体拘束			
合計	14H			

平成29年度 横浜市強度行動障害支援力向上研修（強度行動障害支援者養成研修【実践研修】）スケジュール

会場：男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）

日程	時間	講義名	内容	講師(敬称略)	
1日目 3月5日(月)	9:00~9:20	受付		事務局	
	9:20~9:30	開会	開会あいさつ・ガイダンス	横浜市/事務局	
	9:30~11:00 講義1.5H	行動障害のある人の暮らしを支えるために	地域で強度行動障害の人を支えるチームによる支援の重要性	岸川学 (県立保健福祉大学)	
	11:00~11:10	休憩			
	11:10~11:40 講義0.5H	行動障害のある人の暮らしを支えるために	支援の6つの原則	金子浩崇 (横浜やまびこの里)	
	11:40~12:40	昼休み			
	12:40~14:40 演習2.0H		適切な支援を組み立てる(予防モデル) 行動のアセスメント	障害特性の理解	大友愛美 (ノーマライゼーションサポートセンター ところりんく東川)
				障害特性に基づくアセスメント	
				行動の意味を理解する	
				自閉症の行動特性シートの説明・記入	
	14:40~14:50	休憩			
	14:50~16:50 演習2.0H		適切な支援を組み立てる(予防モデル) 支援計画シートの作成	強みや好みを活かす視点	大友愛美 (ノーマライゼーションサポートセンター ところりんく東川)
				支援計画シートの作成	
発表・まとめ					
16:50~17:00	休憩				
17:00~18:30 講義1.5H	行動障害のある人の生活と支援	日中活動(生活介護など)における支援の実際	黒川敏孝 (横浜共生会)		
		暮らしの場(家庭やGHや施設など)における支援の実際	赤川真 (NPO法人新)		
		外出(行動援護など)における支援の実際	郷家尚人 (あおぼの虹)		
18:30~18:35	事務連絡				

日程	時間	講義名	内容	講師(敬称略)	
2日目 3月6日(火)	9:00~9:15	受付		事務局	
	9:15~10:45 演習1.5H	危機対応と虐待防止	危機対応の方法	坂田瑞恵 (横浜市松風学園)	
			虐待防止と身体拘束		
	10:45~10:55	休憩			
	10:55~11:55 演習1.0H	行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 1	行動記録の説明と活用	神田宏 (横浜やまびこの里)	
			氷山モデルの作成		
			行動の前後関係から考える		
			構造化の考え方と方法		
	11:55~12:55	昼休み			
	12:55~14:55 演習2.0H	行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル) 2	ストラテジーシートの作成 支援手順書の作成	神田宏 (横浜やまびこの里)	
			行動の記録の方法		
			記録の整理と分析		
			再アセスメントと手順書の修正		
14:55~15:05	休憩				
15:05~15:35 講義0.5H	家族の想い	家族の気持ち	江崎康子 (神奈川県自閉症児・者親の会連合会)		
15:35~14:45	休憩				
15:45~17:15 講義1.5H	シンポジウム 地域生活を支える横浜市泉区から	事例報告① 「地域支援を支える(横浜市泉区から)」(シンポジウム)	島田朝久(いずみ苗場の会)		
			荒井知世(開く会)		
			常松智史(びくれつと)		
			野口智子(泉区)		
			上野美砂(湧翠会)		
17:15~17:25	休憩		神田宏(横浜やまびこの里)		
17:25~17:35	チェックシート記入・回収		事務局		
17:35~17:55	チェックシート解説		事務局		
17:55~18:05	修了書授与・閉会		市企画課・事務局		

横浜市強度行動障害者支援力向上研修(実践) 演習計画書

社会福祉法人横浜やまびこの里

●演習について

- ・各演習におけるグループワークは、1グループ最大8名とする。
- ・適切な進行や助言者として、各グループに補助者を1名配置し進行管理を行う。
- ・配置された補助者が講義などでグループを離れる際は、該当するグループの受講者に説明をした上で代理の補助者を配置し対応する。

●「適切な支援を組み立てる(予防モデル)」(4.0時間) 演習計画

実施方法:①「行動のアセスメント」(2.0時間)と②「支援計画シートの作成」(2.0時間)の2コマに分けて演習を実施。

①「適切な支援を組み立てる(予防モデル)」行動のアセスメント(2.0時間)

- ・障害特性の理解:「コミュニケーションの障害」、「社会性の障害」、「想像力・感覚の障害」の説明
- ・障害特性に基づくアセスメント:アセスメント手法の説明。使用する書式「行動特性シート」「認知特性シート」「氷山モデルシート」の説明
- ・行動の意味を理解する:DVDを視聴し、講師によるモデル演習を実施
- ・自閉症の行動特性シートの説明・記入:DVDを視聴し、個人ワーク・グループワークで行動特性シート・氷山モデルシートを作成
- ・行動特性の基となる認知特性シートの説明・記入:DVDを視聴し、個人ワーク・グループワークで認知特性シート・氷山モデルシートを作成

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
適切な支援を組み立てる(予防モデル)行動のアセスメント	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	15	障害特性の説明	講師			
	15	障害特性に基づくアセスメント	講師	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート		シートの配布
	15	行動の意味を理解する	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①演習の手順が正しく理解されているか	DVD再生
	25	自閉症の行動特性シートの説明・記入(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	25	認知特性シート説明・記入(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	15	発表				
	5	まとめ	講師		①アセスメントの重要性の理解②シートを使用して根拠のあるアセスメントを行う	

② 「適切な支援を組み立てる(予防モデル)」支援計画シートの作成(2.0時間)

-強みや好みを活かす視点:障害特性を理化したうえでの環境調整とリフレイミング、ストレングスに着目した支援計画

-支援計画シートの作成:支援手順書の基になる支援計画シートの作成

-発表、まとめ

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
適切な支援を組み立てる(予防モデル)支援計画シートの作成	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	25	強みや好みを活かす視点	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・冰山モデルシート	①障害特性に配慮した環境調整②ストレングスの視点	DVD再生
	60	支援計画シートの作成(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・冰山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	30	発表・まとめ	講師		①支援計画シートを理解しているか	

●「行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)」(3.0時間) 演習計画

実施方法:①「記録とアセスメント」(1.0時間)と②「支援手順書の作成」(2.0時間)の2コマに分けて演習を実施。

①記録とアセスメント(行動障害対応モデル)(1.0時間)

- 行動記録用紙の説明と活用:行動記録用紙、ストラデジーシート、氷山モデルシートの説明
- 氷山モデルシートの作成:氷山モデルシートを作成
- 行動の前後関係から考える:行動記録用紙を活用した行動観察
- 構造化の考え方と方法:環境調整による支援を行う上での行動観察

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)記録とアセスメント	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	15	行動記録の説明と活用	講師	行動記録用紙・ストラデジーシート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	シートの配布
	15	氷山モデルシートの作成(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	15	行動の前後関係から考える(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①演習の手順が正しく理解されているか	DVD再生
	10	構造化の考え方と方法	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生

②支援手順書の作成(行動障害対応モデル)(2.0時間)

- ストラデジーシートの作成支援手順書の作成:ストラデジーシートの作成、支援手順書の説明と作成
- 行動記録の方法:ストラデジーシートを使用した行動の記録
- 記録の整理と分析:ストラデジーシートを使用した行動の記録から氷山モデルシートを使用して行動の意味を理解する
- 再アセスメントと支援手順書の修正:支援を通じてPDCAサイクルを学ぶ

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
行動上の課題に対応する(行動障害対応モデル)支援手順書の作成	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	15	ストラデジーシートの作成と支援手順書の作成(モデル演習)	講師	行動記録用紙・ストラデジーシート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	シートの配布
	15	ストラデジーシートの作成と支援手順書の作成(個人ワーク・グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動記録用紙・ストラデジーシート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	20	行動の記録の方法(グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	20	記録の整理と分析(グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか	DVD再生
	20	再アセスメントと支援手順書の修正(グループワーク)	講師・ファシリテーター	行動特性シート・認知特性シート・氷山モデルシート	①手順を守れているか②使用シートの意味が理解されているか③PDCAサイクルについて理解できているか	DVD再生
	25	発表・まとめ	講師		①支援手順書を理解しているか	

●「危機対応と虐待防止」(1.5時間) 演習計画

実施方法:①「虐待を防止するために」のコマで演習を実施。

・虐待対応の方法:虐待の定義、対応方法の説明

・虐待防止と身体拘束:虐待防止と身体拘束についての説明

・虐待を防止するために:SHEL(L)分析を用いてグループ演習

科目	分	内 容	分担	使用シート類	配 慮 点 など	事務局
危機対応と虐待防止	5	事前講義・演習解説	講師		①講義の狙い ②演習解説 ③グループワークの留意点	
	5	虐待対応の方法・虐待防止 と身体拘束	講師		①虐待の定義②虐待防止の方法③身 体拘束について	
	70	虐待を防止するために(個人 ワーク・グループワーク)	講師・ファ シリテーター	SEHL(L)分 析シート	①虐待の背景を知る②防止の方策を考 える	シートの配布
	10	発表・まとめ	講師		①虐待防止について理解できたか	

横浜市強度行動障害支援力向上研修
(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】・【実践研修】) 学則

社会福祉法人横浜やまびこの里

1 開講目的

行動障害を有する者のうち、いわゆる「強度行動障害」を有する者は、自傷、他害行為など、危険を伴う行動を頻回に示すことなどにより、日常生活に困難が生じているため、現状では事業所での受入れが消極的であったり、身体拘束や行動制限などの虐待につながったりする可能性も懸念されるところです。

一方、障害特性の理解に基づく適切な支援を行うことにより、強度行動障害が低減し、安定した日常生活を送ることができることが知られています。

このため、強度行動障害のある方の地域移行及び地域生活に向けた取組として、強度行動障害に係る支援手法の浸透や、適切な支援を行う職員の人材育成を目的とした横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】)を実施します。また、強度行動障害のある方に対して、適切な支援計画を作成することが可能な職員の育成を目的とした横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【実践研修】)を実施します。

2 研修事業の名称等

名称：横浜市強度行動障害支援力向上研修(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修】・【実践研修】)

事業者指定番号：第 0001 号

3 実施場所

【基礎研修】

名称：横浜市技能文化会館 2F ホール

所在地：〒231-8575

神奈川県横浜市中区万代町 2 丁目 4 番地 7

電話番号：045-681-6551

【実践研修】

名称：男女共同参画センター横浜南（フォーラム南太田）

所在地：〒232-0006

神奈川県横浜市南区南太田 1 丁目 7 番地 2 0

電話番号：045-714-5911

4 研修期間

【基礎研修】平成 29 年度に 2 回実施します。

【実践研修】平成 29 年度に 1 回実施します。

5 研修カリキュラム及び 講師氏名、演習計画（別紙参照）

6 研修修了の認定方法

- (1) 公的機関発行の証明書等により受講者の本人確認をおこない、全カリキュラムを受講した者に対して修了証明書を交付します。なお、本人確認方法については「神奈川県強度行動障害支援者養成研修事業者指定基準」別紙 5 のとおり、初回の講

義時等研修日に下記のものにより行い、写しを保管します。

- ・住民票の写し
- ・住民基本台帳カード
- ・在留カード等
- ・健康保険証
- ・運転免許証
- ・パスポート
- ・年金手帳
- ・生活保護受給証明書
- ・国家資格等を有する者については、免許証又は登録証等

(2) 受講生がやむを得ない理由でカリキュラムの1部を受講しなかった場合は、次の方法で補講をおこなうよう努め、補講修了者に修了証明書を交付します。

- ① 社会福祉法人横浜やまびこの里が別に行う同一課程の研修において、該当科目の補講を行います。
- ② 他の事業者が指定を受けた同一課程の研修において、該当科目を受講することで補講とします。
- ③ その際は【基礎研修】は原則1か月以内、やむを得ない場合2か月以内に受講することとし、【実践研修】は原則2か月以内、やむを得ない場合4か月以内に受講することとします。
- ④ 補講の実施にあたっては、「神奈川県強度行動障害支援者養成研修事業者指定基準」別紙3の留意事項を遵守して実施します。
- ⑤ 補講を受講した際には、別途受講料をいただきます。

7 開講時期

【基礎研修】平成29年度第1回目(2日間):平成29年8月25日(金)～26日(土)

平成29年度第2回目(2日間):平成29年12月7日(木)～8日(金)

【実践研修】平成29年度第1回目(2日間):平成30年3月5日(月)～6日(火)

8 受講資格

- (1) 横浜市内に所在する障害福祉サービス事業所等において、知的障害、精神障害のある児者を支援対象にした業務に従事している者、もしくは今後従事する予定のある者。
- (2) 2日間全ての日程を受講できる者
- (3) 所属している法人の推薦を受けた者
- (4) 【実践研修】は強度行動障害支援者養成研修(基礎研修)、もしくは重度訪問介護従業者養成研修行動援護支援課程を修了した者。

9 受講手続(募集要領等)

ウェブサイト「障害福祉情報サービスかながわ」の「書式ライブラリ」→「2. 横浜市からのお知らせ」→「8 研修・説明会等【横浜市】」に募集要領を掲載し、受講申込方法をお知らせします。また、社会福祉法人横浜やまびこの里HPにも掲載します。申込みは個人ではなく、所属する法人単位で申込みをしていただきます。

10 受講者の決定

- (1) 定員を大幅に上回った場合は、申込み法人が推薦された方の中から、法人内優先

順位を勘案し、申込の内容を審査した上で決定します。(先着順ではありません。)

(2)「行動援護従業者養成研修」を修了していない方を優先して選考対象とします。

11 受講定員

【基礎研修】各回120名

【実践研修】80名

12 募集期間

【基礎研修】平成29年度第1回 平成29年6月28日～7月11日(7月11日消印有効)

平成29年度第2回 平成29年10月6日～10月20日

(10月20日消印有効)

【実践研修】平成29年度第1回 平成30年1月11日～1月31日(1月31日必着)

13 受講料等

【基礎研修】5,500円(テキスト代・資料代を含む)、【実践研修】1,400円(資料代を含む)とし、受講決定通知に記載された期限までに納付するものとします。支払方法等詳細については受講決定通知とともに案内するものとします。(会場までの交通費等についても受講者負担)

なお、受講料を納付後に受講できなくなった場合や欠席された場合でも、受講料の返還はいたしません。

14 使用テキスト

・『行動障害のある人の「暮らし」を支える』第2版

(強度行動障害支援者養成研修【基礎研修・実践研修】テキスト)

発行：中央法規出版社発行

監修：特定非営利法人全国地域生活支援ネットワーク

編集：牛谷正人・福島龍三郎・肥後祥治

・その他、社会福祉法人横浜やまびこの里が編集した資料を使用します。

*【基礎研修】については、テキスト代及び資料代は受講料に含まれます。

【実践研修】については、資料代は受講料に含まれます。

15 個人情報の取扱方法

(1) 提出された個人情報について、研修事業以外の目的には使用いたしません。

(2) 研修事業に関する書類(申請書・届出の控え、受講者の出席状況及び成績に関する書類、講師の出講状況に関する書類等)は、研修終了後5年間保存します。

(3) 研修修了者名簿は神奈川県に提出します。

16 担当部署

名称：社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター

所在地及び連絡先：

〒231-0047 横浜市中区羽衣町2丁目4番地4 エバース第8関内ビル5F

電話番号 045-334-7320

FAX 045-334-8619

講 師 一 覧 (実践研修)

担当科目	氏 名	現 職	専任・兼任	
講 義	1 強度行動障害がある者へのチーム支援			2H
	①強度行動障害支援の原則			
	「行動障害のある人の暮らしを支えるために」 2H	浮貝 明典	NPO 法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト (共同生活援助事業) 管理者・世話人・横浜市サポートホーム事業 コーディネーター	兼任
		岸川 学	神奈川県立保健福祉大学 保健福祉学部社会福祉学科助教	兼任
		金子 浩崇	社会福祉法人 横浜やまびこの里 東やまたレジデンス (計画相談) 管理者・相談員	兼任
	2 強度行動障害と生活の組み立て			2H
	①行動障害のある人の生活と支援の実際			
	「行動障害のある人の生活と支援」 1.5H	黒川 敏孝	社会福祉法人横浜共生会 花みずき (障害者支援施設) 支援員・相談員	兼任
		赤川 真	NPO 法人新 グループホームはあとっこ (共同生活援助) 管理者	兼任
		郷家 尚人	一般社団法人あおぼの虹 ヘルパーステーションあさぞら (居宅介護・重 度訪問介護・行動援護・移動介護事業所) 管理者	兼任
	「家族の思い」 0.5H	江崎 康子	神奈川県自閉症児・者親の会連合会 相談役 特定非営利活動法人湘南ふくしネットワークオ ンブズマン オンブズマン	兼任
	3 その他			
	①事例報告			
	「地域支援を支える (横浜市泉区から)」 (シンポジウム) 1.5H	島田 朝久	社会福祉法人いずみ苗場の会 泉地域活動ホーム 泉区基幹相談支援センター 相談員	兼任
		荒井 知世	社会福祉法人 開く会 相談支援室 きくみみ (計画相談支援事業所) 相談専門員	兼任
常松 智史		社会福祉法人ぴぐれっと 多機能型事業所ぴぐれっと サービス管理責任者	兼任	
野口 智子		横浜市泉区福祉保健センター高齢・障害支援課 障害者支援担当 (知的・身体障害者支援担当) ケースワーカー	兼任	
上野 美砂		社会福祉法人湧翠会 ヘルパーステーションにじいろ サービス提供責任者	兼任	
神田 宏		社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター 発達障害者支援マネージャー	兼任	

講師一覧(実践研修)

担当科目	氏名	現職	専任・兼任	
演習	1 障害特性の理解とアセスメント		2.5H	
	① 障害特性とアセスメント			
	「適切な支援を組み立てる」(予防モデル) - 行動のアセスメント- 2H	大友 愛美	NPO 法人ノーマライゼーション サポートセンターこころりんく東川 副理事長	兼任
	「行動上の課題に対応する」(行動障害対応モデル) 1・2 0.5H	神田 宏	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター 発達障害者支援マネージャー	兼任
	2 環境調整による強度行動障害の支援		3.5H	
	① 構造化の考え方と方法			
	「適切な支援を組み立てる」(予防モデル) - 支援計画シート of 作成- 2H	大友 愛美	NPO 法人ノーマライゼーション サポートセンターこころりんく東川 副理事長	兼任
	「行動上の課題に対応する」(行動障害対応モデル) 1・2 1.5H	神田 宏	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター 発達障害者支援マネージャー	兼任
	3 記録に基づく支援の評価		1H	
	① 記録の収集と分析			
「行動上の課題に対応する」(行動障害対応モデル) 2 1H	神田 宏	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター 発達障害者支援マネージャー	兼任	
4 危機対応と虐待防止		1H		
① 危機対応と虐待防止				
「危機対応と虐待防止」 1.5H	坂田 瑞恵	横浜市松風学園 サービス管理責任者	兼任	

演習補助者一覧（実践研修）

	担当科目	氏名	現職	専任・兼任
演習	1 障害特性の理解とアセスメント	浮貝 明典	特定非営利活動法人 PDD サポートセンター グリーンフォーレスト 共同生活援助 管理者・コーディネーター	兼任
	2 環境調整による強度行動障害の支援	渡邊 哲也	社会福祉法人試行会 青葉メゾン（障害者支援施設） 相談支援員	兼任
	3 記録に基づく支援の評価	村上さくら	社会福祉法人同愛会 森のピーターパン（行動援護等事業所） サービス提供責任者	兼任
	4 危機対応と虐待防止	田村 優紀	社会福祉法人大樹 ヘルパーステーション木の葉（行動援護・居宅介護事業所）管理者・サービス提供責任者	兼任
		椎原 堅児	社会福祉法人びぐれっと 地域支援センターびぐれっと（居宅介護・重度訪問介護他）サービス提供責任者	兼任
		林 美奈子	社会福祉法人白根学園 光の丘（障害者支援施設） サービス管理責任者	兼任
		上野 美砂	社会福祉法人湧翠会 ヘルパーステーションにじいろ サービス提供責任者	兼任
		古瀬 智絵	社会福祉法人横浜共生会 花みずき（障害者支援施設） 生活支援員	兼任
		松島 祐治	社会福祉法人横浜やまびこの里 ヘルパーセンターやまびこ（行動援護・居宅介護他事業所）サービス提供責任者	兼任
		西部 真弓	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市発達障害者支援センター 発達障害者地域支援マネージャー	兼任
	櫻井 美佳	社会福祉法人横浜やまびこの里 横浜市学齢後期発達障害相談室くらす 所長	兼任	